

パネリストプロフィール

安田 節子（やすだ せつこ）氏

食政策センター「ビジョン21」代表。NPO 法人「日本有機農業研究会」理事。「日本の種子を守る会」副代表。

1990 年～2000 年日本消費者連盟で、反原発運動、食の安全と食糧農業問題を担当。1996 年～2000 年市民団体「遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン」事務局長。表示や規制を求める全国運動を展開。2000 年 11 月「食政策センター・ビジョン21」設立。情報誌『いのちの講座』を発行。埼玉大学非常勤講師などを歴任。

主な著書『自殺する種子 アグロバイオ企業が食を支配する』（平凡社新書）「私たちは何を食べているのか」（三和書籍）ほか多数。

吉田 太郎（よしだ たろう）氏

NPO 法人日本有機農業研究会理事。1961 年、東京都生まれ。筑波大学自然学類卒。同大学院地球科学研究科中退。専攻は地質学。埼玉県、東京都および長野県の農業関係行政職員として勤務。長野県では農業大学校教授（生物学、土壌肥料学演習）のほか、有機農業推進担当職員として有機農業の啓発普及に従事。定年退職後は晴耕雨読の生活をしつつ、フリージャーナリストとして活動。

主な著作は『タネと内臓』『コロナ後の食と農』『土が変わるとお腹も変わる』（いずれも築地書館）、『シン・オーガニック』（農文協）、『有機給食スタートブック』（共著、農文協）など。

中村 文夫（なかむら ふみお）氏

教育行財政研究所主宰。元自治労学校事務協議会代表。埼玉県学校事務労働組合委員長ほか。元専修大学他大学非常勤講師（教育行政学他）。元公教育計画学会会長。

主な近著は、「学校財政」（学事出版）、「子どもの貧困と公教育」（明石書店）「アフター・コロナの学校の条件」（岩波書店）、「足元からの学校の安全保障」（明石書店 編著）、学校給食費無償と教育の未来―食の安全・地域共同・世均しの教育」（明石書店 2025 年 2 月）雑誌「自治体が拓いた無償の学校給食時代」『月刊自治研』2023 年 7 月号、「学校給食無償という奔流」『地平』2025 年 1 月号

コーディネーター 磯田 勝（いそだ まさる）

自治労学校事務協議会幹事。教育・学校ネットワークさいたま代表。さいたま市学校地域連携コーディネーター。